

校長先生の日記③②

インフルエンザが猛威をふるいました

あっという間のできごとでした。インフルエンザが出てから数日のうちに、人数が激増し、学級閉鎖の学級が相次ぎました。2学年が両クラスとも閉鎖、5年生も両クラスとも閉鎖、7年生が1クラス、8年生が1クラス、9年生は両クラスが最終的に閉鎖となってしまいました。

改めて、菌の怖さを実感しました。祭日が間に入ったり、週末になったりして、27日（月）には全学級復活しました。

ご心配をおかけして、大変申し訳ありませんでした。まだ流行していないクラスもありますので、引き続き気を引き締めて、感染予防に努めてまいります。

児童生徒会選挙が行われました 11月27日（月）

インフルエンザの流行により、予定されていた期末テストや立会演説会、5年生の社会科見学、初等部の元気っこ祭りなどが延期になってしまいました。しかしようやく学級閉鎖もなくなり、選挙が行われました。

どの候補者も立派に自分の意見を述べる事ができました。応援演説の仲間も、候補者の魅力をしっかり伝える事ができました。こうやって今の9年生の立派な姿を引き継ぎ、さらに自分たちオリジナルを付け足し、さらに7年生に引き継いでいきます。選挙には4年生から参加しているので、この姿をこれからずっと見続けていくことになり、気持ちが醸成されていきます。



専門性を生かして

本校では、保健の先生も栄養教諭の先生も、大学院生も子どもたちに授業をしてくれます。それぞれの先生方の専門性を生かしての授業なので、子どもたちの興味関心も高くなります。どんな質問にも的確に答えてもらえるので、課題が解決して満足です。それぞれの先生方の持ち味を生かして、子どもたちに刺激をどんどん与えてもらいたいです。



給食にルバーブパイ！！

手作りのルバーブジャムを使ったパイ付きカップケーキができました。サクサクのパイ生地に甘酸っぱいルバーブジャムがよくマッチして、最高でした。調理員さんが一つ一つ心をこめて作ってくれます。本当に毎日幸せな信濃小中学校です！！



2年生が世界一おいしいポップコーン屋さんを開いてくれました

2年生が自分たちで育てたポップコーンを使ってポップコーン屋さんを開いてくれました。チケット自分たちで作り、配り、ポップコーンだけでなくゲームも用意して、先生方を招待してくれました。

お世話になっている8年生のみなさんも同じように招待してくれました。

4月当初に比べると、本当にしっかりして、友だちとも仲良く協力して、お店をきりもりしていました。本当に成長を感じました。

11月も終わりを迎えて、あっという間だと思いますが、子どもたちは確実に成長していると、心から嬉しく思いました。

2学期も残りわずかとなってきましたが、子どもたちの成長をしっかり捉え、保護者のみなさんに懇談会でお伝えしたいと思います。



4年生のソーランは力強かった！

4年生が体育の時間に学習した「ソーラン節」を発表してくれました。

ソーラン節の特徴は、力強く船をこいだり、網をひっぱったりする動作です。それがしっかりできないと、なんとなく残念なソーラン節になってしまいますが、4年生のはとても力強く迫力がありました。声もしっかり出ていて、見ていて気持ちがよかったです。「決めのポーズ」も最高でした。ダンスの授業はこれから中学校まで続きます。体を動かして表現するのは、恥ずかしいという人もいますが、実はとっても気持ちがいいことなんだということを、体感してくれたら嬉しいです。歌やダンスは自分の人生を豊かで楽しいものにしてくれます。ぜひ、これからも楽しみながら挑戦してほしいです。